

# 学術講演会のお知らせ

令和5年10月13日(金) 16:00~17:30

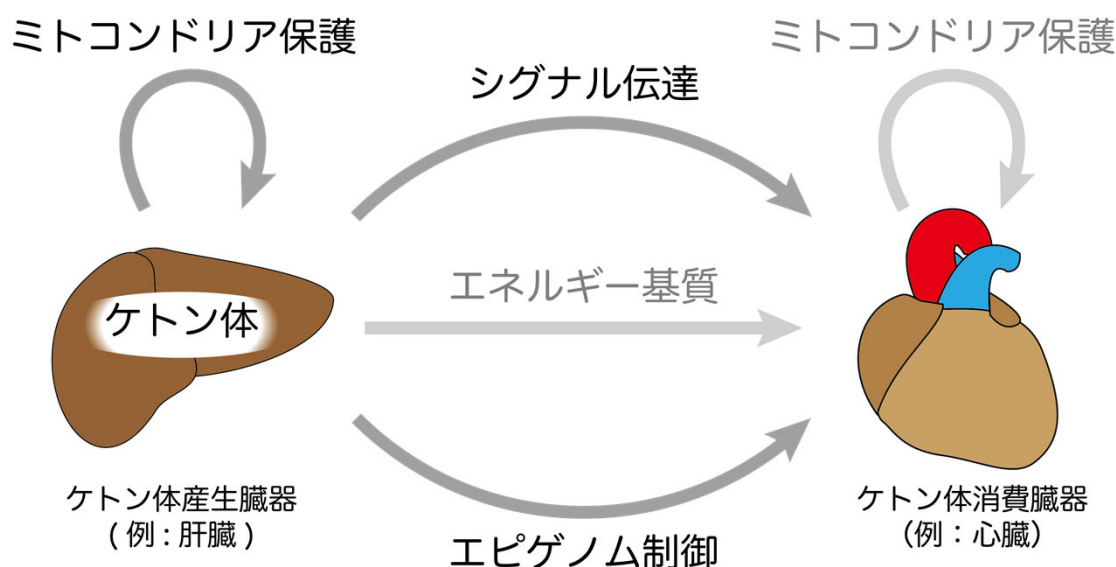
医学基礎B棟2階 基礎第二講義室

## 「ケトン体代謝のもつ多面的作用」

熊本大学 国際先端医学研究機構(IRCMS) 副機構長  
心臓発生研究室 特任准教授(主任研究員)

### 有馬 勇一郎 博士

ケトン体は飢餓時に血中濃度が上昇し、空腹時のエネルギー基質として利用されることが知られている。しかしながら、近年ケトン体代謝にはこれまで考えられていた以上に、多面的な作用を持つことが注目されるようになった。演者はケトン体合成不全マウスの解析を進める過程で、ケトン体合成にはミトコンドリアタンパクの過度なアセチル化を緩和し、ミトコンドリア保護をもたらすことを明らかにした(Arima et. al., Nature Metabolism 2021)。加えて、肝臓外で産生されるケトン体は組織の発生や成熟・病態応答に重要な働きを持つことも見出しており、本公演ではケトン体代謝の持つ多面的な作用を、自身の研究結果を提示しながら紹介する。



本講演は、大学院医学研究科、医科栄養学研究科、  
口腔科学研究科の大学院特別講義を兼ねています。

連絡先: 大学院医歯薬学研究部 予防環境栄養学分野 上番増 喬 (内線9598)

E-mail: [uebanso@tokushima-u.ac.jp](mailto:uebanso@tokushima-u.ac.jp)

共催: プレシジョン栄養学の研究基盤確立を目指す食と栄養研究クラスター  
微生物の有効活用と栄養不良予防法の開発